

# 平成 24 年度 事業報告

# 1. 会議関係

会 議	開催日	於
理 事 会	24.2.14	東 京
〃	24.2.15	〃
〃	24.4.10	全 軟 連
〃	24.8.7	〃
〃	24.12.5	〃
業務執行理事会	24.3.12	〃
〃	24.5.8	〃
〃	24.7.24	〃

会 議	開催日	於
業務執行理事会	24.11.13	全 軟 連
常 務 理 事 会	24.5.21	全 軟 連
〃	24.6.27	〃
技 術 委 員 会	24.2.14~15	東 京
〃	24.6.18~19	全 軟 連
〃	24.12.9~10	〃
公認会計士監査	25.1.23	全 軟 連
連盟監事監査	25.1.28	〃

# 2. 平成 24 年度 支部・登録チーム

支部数 47、末端支部数 920

- ・一般(社会人)…34,849 チーム
- ・少年部(中学生)…8,177 チーム
- ・学童部(小学生)…13,914 チーム

} 56,940 チーム

加盟団体 4

- ・大学協会 498 校
- ・専門学校 176 校
- ・還暦連盟 453 チーム
- ・中体連

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
北海道	2,007	389	828	3,224
青 森	176	138	272	586
岩 手	422	174	248	844
宮 城	349	181	339	869
秋 田	318	38	212	568
山 形	108	99	156	363
福 島	511	346	80	937
茨 城	508	230	278	1,016
栃 木	1,495	157	359	2,011
群 馬	1,002	176	287	1,465
埼 玉	1,020	320	706	2,046
千 葉	1,020	417	599	2,036
東 京	3,585	922	1,240	5,747
神 奈 川	2,104	440	890	3,434
山 梨	204	93	140	437
新 潟	383	226	314	923
長 野	943	153	238	1,334
富 山	411	81	163	655
石 川	206	86	149	441
福 井	214	65	125	404
静 岡	1,003	239	290	1,532
愛 知	3,005	340	760	4,105
三 重	351	153	174	678
岐 阜	1,271	227	487	1,985

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
滋 賀	201	108	244	552
京 都	772	56	326	1,154
大 阪	3,000	45	398	3,443
兵 庫	1,718	348	454	2,520
奈 良	308	95	178	581
和 歌 山	159	103	312	574
鳥 取	210	60	150	420
島 根	168	59	125	352
岡 山	300	71	138	509
広 島	1,009	72	165	1,246
山 口	483	27	149	659
香 川	248	66	118	432
徳 島	156	72	132	360
愛 媛	302	115	66	483
高 知	246	80	88	414
福 岡	725	229	350	1,304
佐 賀	256	83	153	492
長 崎	160	130	67	357
熊 本	326	163	212	701
大 分	310	118	228	656
宮 崎	205	113	140	458
鹿 児 島	411	168	98	677
沖 縄	560	106	289	955
合 計	<b>34,849</b>	<b>8,177</b>	<b>13,914</b>	<b>56,940</b>
前 年 比	-76	298	-307	-85

### 3. 公1 軟式野球大会開催事業 (ア) 軟式野球大会開催事業

下表のとおり、事業を終了した。

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇賜杯第67回 全日本軟式野球大会	10月26日(金) ～31日(水)	那覇市他	57	鳥取県・パナソニック鳥取野球部
高松宮賜杯第56回 全日本軟式野球大会	1部 9月21日(金) ～24日(月)	福島市他	32	埼玉県・アスレチックス倶楽部
	2部 10月12日(金) ～15日(月)	広島市他	32	岐阜県・足立建設
高円宮賜杯第32回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月12日(日) ～17日(金)	新宿区他	51	福井県・鳥羽野球部
第29回全日本少年軟式野球大会	8月20日(月) ～23日(木)	横浜スタジアム	16	京都府・西京ビッグスターズ
文部科学大臣杯第3回 全日本少年春季軟式野球大会	3月23日(金) ～26日(月)	静岡市他	32	京都府・西京ビッグスターズ
第67回国民体育大会 (ぎふ清流国体)	成年男子 9月30日(日) ～10月3日(水)	大垣市他	32	愛知県・株式会社ニッセイ
第34回 東日本軟式野球大会	1部 6月8日(金) ～11日(月)	蘭越町他	28	茨城県・日立プラントテクノロジー
	2部 6月8日(金) ～11日(月)	共和町他	28	神奈川県・JXエネオス横浜
第34回 西日本軟式野球大会	1部 5月11日(金) ～14日(月)	宮崎市	26	宮崎県・宮崎サニクリーン
	2部 6月29日(金) ～7月2日(月)	高知市他	26	熊本県・水晶苑
水戸市長旗 第20回東日本軟式野球選手権大会	11月2日(金) ～6日(火)	水戸市他	28	静岡県・静岡ガス株式会社
第16回 西日本軟式野球選手権大会	11月9日(金) ～12日(月)	北九州市	27	鳥取県・パナソニック鳥取野球部
第57回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月9日(金) ～12日(月)	蒲郡市他	13	愛知県・大森石油(株)
日本スポーツマスターズ2012	10月20日(土) ～22日(月)	高知市他	32	福岡県・秋吉整形外科クラブ
第34回 全国中学校軟式野球大会	8月18日(土) ～21日(火)	前橋市他	25	兵庫県・西宮市立学文中学校
第34回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月3日(金) ～6日(月)	札幌市	16	三重県・JBC玉城

#### 国体総合成績 (天皇杯得点)

1位	愛知県	74点	5位	岐阜県	42点
2位	千葉県	66点	6位	広島県	34点
3位	佐賀県	58点	7位	山口県	26点
4位	大阪府	50点	8位	埼玉県	18点

## 助成金関係

(1)国体派遣役員旅費	1,341,960 円	日体協
(2)選手強化事業交付金(平成 23 年度分)	500,000 円	JOC
(3)少年野球振興事業助成	1,000,000 円	(公財)ミズノスポーツ振興財団
(4)スポーツ普及奨励助成事業	800,000 円	(公財)スポーツ安全協会
(5)スポーツ振興基金(23 年分)	2,200,000 円	(独)日本スポーツ振興センター
(6)スポーツ振興くじ助成(23 年分)	929,000 円	〃
(7)第 6 回U12 アジア野球選手権大会助成	1,000,000 円	全日本アマチュア野球連盟

## 協賛金関係

- (1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルドカップ大会を実施した支部、ブロックへの助成金として、総額 52,500,000 円の協賛を受けた。
  - (2) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、総額 1,984,500 円の協賛を受けた。
  - (3) 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会より 2,000,000 円、東京新聞より 1,000,000 円、共同通信社より、500,000 円の協賛を受けた。
  - (4) ミズノ(株)より全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
  - (5) (株)アシックスより全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
  - (6) (一社)日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し、525,000 円の協賛を受けた。
- ※ 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

## 交付金関係

- (1) 協賛金交付

47 支部に対し、マクドナルド協賛金を総額 14,681,300 円交付した。

## 2012 BFA “A” アジア野球選手権大会（東日本大震災被災地チーム出場）

例年、学童チームの海外遠征は高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメントの優勝チームを派遣していたが、今年度は高円宮賜杯大会と国際大会の会期が重複したことから、東日本大震災で被害を受けた福島県、宮城県、岩手県支部と調整を行った。その結果、高円宮賜杯岩手県大会で準優勝した「小佐野クラウン野球スポーツ少年団」を中国の四川省成都市で開催されたアジア大会に派遣した。本大会はアジア野球連盟(BFA)が主催している公式な国際大会である。

競技成績は第 6 位という結果となったが、他国の選手たちと交流を深め、日本の礼儀正しい行動や姿勢を他国の人々に知ってもらえる機会となった。

主催：アジア野球連盟(BFA)・中国棒球協会

期日：8月16日(木)～23日(木)

参加チーム：中華人民共和国、香港、韓国、インドネシア、フィリピン、  
チャイニーズタイペイ、パキスタン、日本 (7カ国8チーム)

団長：坂野 功 (全日本軟式野球連盟 常務理事)

審判員：加藤 廣美 (全軟連技術委員)

事務局：清野 祐

戦績：

■予選リーグ

A組

	日 本	中 国	インドネシア	香 港
日 本		4-10	4-10	17-1
中 国	10-4		20-0	22-0
インドネシア	10-4	0-20		8-15
香 港	1-17	0-22	15-8	

B組

	チャイニーズタイペイ	韓 国	フィリピン	パキスタン
チャイニーズタイペイ		12-0	14-1	24-0
韓 国	0-12		7-0	26-0
フィリピン	1-14	0-7		28-0
パキスタン	0-24	0-26	0-28	

※競技 4 日目の順位決定戦が雨天のため中止になり、各グループの同順位同士の直接対決にて最終順位を決定した。

■ 第7位・第8位決定戦

香 港 (A組 4位) 25-2 パキスタン (B組 4位)

■ 第5位・第6位決定戦

日 本 (A組 3位) 6-11 フィリピン (B組 3位)

■ 第3位・第4位決定戦

インドネシア (A組 2位) 2-6 韓 国 (B組 2位)

■ 決勝戦

中 国 (A組 1位) 14-11 チャイニーズタイペイ (B組 1位)

■ 順位

1位中国、2位チャイニーズタイペイ、3位韓国、4位インドネシア  
5位フィリピン、6位 日本、7位香港、8位パキスタン

尚、遠征費用については国内移動費、渡航費の監督1名・コーチ1名・出場選手14名、団長・審判員、事務局、保護者5名分を全軟連で負担した(その他保護者についてはチーム負担)。また、監督・コーチ・出場選手の滞在に係る経費はホスト国が負担した。

## ドーピング検査実施報告

第 67 回国民体育大会、天皇賜杯第 67 回大会及び水戸市長旗第 20 回東日本選手権大会にて競技会検査を実施した。

国体では、2 チームより 2 検体ずつ計 4 検体の検査を実施し、すべて陰性であった。

国体全競技では、競技会検査（173 検体・21 競技）、競技会外検査（50 検体・12 競技）それぞれで、計 223 検体が検査され、すべて陰性であった。

天皇賜杯では、4 チームより 2 検体ずつ計 8 検体の検査を実施し、全て陰性であった。

また水戸市長旗東日本選手権大会では、2 チームより 2 検体ずつ計 4 検体の検査を実施し、すべて陰性であった。

さらに、教育啓発活動として、第 67 回国民体育大会及び第 29 回全日本少年大会にてアウトリーチプログラムを実施し、参加選手に対する指導を行った。

※競技会検査：大会会期中に実施する検査

競技会外検査：大会会期以外の日程に実施する検査

アウトリーチプログラム：(公財)日本アンチ・ドーピング機構が実施するドーピング防止教育啓発活動

## (イ) 審判員等養成事業

名 称	期 日	場 所	参 加 者	修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3 月 3 日(土)～2 日間	福島県・福島市	審判技術指導員	17 名
関東地区 技術指導員研修会	3 月 3 日(土)～2 日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	33
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3 月 3 日(土)～2 日間	愛知県・名古屋市	審判技術指導員	30
近畿・中国・四国地区 技術指導員研修会	3 月 3 日(土)～2 日間	岡山県・倉敷市	審判技術指導員	42
九州地区 技術指導員研修会	3 月 3 日(土)～2 日間	沖縄県・那覇市	審判技術指導員	20
技術研修員講習会	2 月 24 日(金)～3 日間	埼玉県・さいたま市、川口市	審判技術研修員	37
				15 名

ブロック講習会	ブロック	会期	会場	受講者
	北海道	5 月 4 日～3 日間	北海道・釧路市	42 名
	東北	3 月 16 日～3 日間	宮城県・大崎市	39
	関東	3 月 16 日～3 日間	神奈川県・厚木市	42
	北信越	10 月 19 日～3 日間	新潟県・柏崎市	30
	東海	11 月 17 日～3 日間	三重県・四日市市	43
	近畿	11 月 16 日～3 日間	兵庫県・尼崎市	43
	中国	3 月 23 日～3 日間	鳥取県・鳥取市	37
	四国	10 月 12 日～3 日間	香川県・三木町	19
九州	3 月 17 日～3 日間	福岡県・久留米市	50	
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各 5 名（一般登録 2 千以上） 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各 4 名（一般登録 1 千以上）他各 3 名			

## (ウ) 公式軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

### (1) 競技者必携

支部その他に、25,968部を有償、無償で支部チーム登録分として57,751部を頒布した。

### (2) 公認野球規則

支部、その他に55,049部を有償、無償で951部を頒布した。

## 寄付金関係

(公財)日本高野連・朝日新聞社	1,000,000円
(公財)日本高野連・毎日新聞社	1,000,000円
株式会社 エス・エス・ケイ	1,500,000円
ヤング(株)	400,000円
株式会社共同写真企画	1,000,000円
ナガセケンコー(株)	300,000円
エスピータック(株)	1,000,000円
その他	1,100,000円

## 4. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

### (ア) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

#### 関係団体助成金

各団体に対し総額3,500,000円を交付した。

全日本大学軟式野球協会	1,000,000円
公益財団法人日本高等学校野球連盟	1,000,000円
全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟	500,000円
全日本ろう社会人野球連盟	200,000円
全国官公庁野球連盟	100,000円
全日本女子軟式野球連盟	100,000円
全国専門学校野球連盟	250,000円
全日本還暦野球連盟	250,000円
アオダモ資源育成の会	100,000円

## 各種全国大会等後援関係

以下の 25 事業を後援した。

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、  
全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (社)少年軟式野球国際交流協会 世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球選手権大会
- (14) (財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- (15) 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- (16) 全日本トスベースボール大会
- (17) 全国官公庁野球大会
- (18) 全国中学生 KB 野球選手権大会、全国女子 KB 野球選手権大会、  
全国中学生 KB 秋季大会
- (19) 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- (20) ダイワハウス全国少年少女野球教室
- (21) マルハンドリームカップ全国ベースボールトーナメント
- (22) 全国ガス野球大会
- (23) Winwin 水素水ドリームカップ全国ベースボールトーナメント
- (24) ポップアスリートカップ学童軟式野球全国大会
- (25) エバーライフ・皇潤/WCBF 少年野球教室

## (イ) スポーツ指導者養成事業

### 日本体育協会公認コーチ養成軟式野球専門科目講習会

11月3日(土)~11月7日(水)の5日間の日程により、静岡県伊豆市にて受講生14名を集め、実施し、無事に全日程を終了した。

### 助成金

公認コーチ養成(24年度第1回分) 929,000円 日体協  
スポーツ指導者養成事業交付金 110,000円 日体協



## (ウ) 広報活動事業

ホームページ全体をリニューアルし、各加盟団体とシステム上でリンクできる形に変更した。例年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信して、迅速な対応を図った。

また、ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童・少年向けの広報誌を2回発行、各都道府県支部の協力のもと、学童・少年部登録チームへ配布を行った。

## 5. 収1 野球用具検定事業

用具公認社の契約状況について

### (1) 新規公認社

株式会社 久保田運動具店 (マスク、プロテクター・レガース)  
ローリングスジャパン LLC (マスク、プロテクター・レガース)  
株式会社 ハタケヤマ (マスク、プロテクター・レガース)  
上記3社を新規に公認社として承認し、契約を締結した。

### (2) 公認社取下げ

株式会社ナイキジャパン (マスク、プロテクター・レガース)  
次年度より公認社から協力社に変更となる。

### (3) 契約更新について

16社が更新の契約を締結した。

## 公認用具普及費

- (1) 9ブロックに対し、総額2,926,500円を交付した。
- (2) 47支部に対し総額3,665,100円を交付した。
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会へ使用球10ダースを提供した。

## 6. 収2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の1階、2階、5階スペースを賃貸。  
賃貸料等収入 17,787,144円

## 7. 収3 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売。  
制定物品販売高収入 5,855,361円。

## 8. 職業野球退団者の本連盟復帰者

6支部より7名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成24年12月末までの復帰者総計487名。(40歳以上も含む)

No.	支部	氏名	最終球団
482	東京	衣川 幸夫	ヤクルトスワローズ
483	三重	西川 明	中日ドラゴンズ
484	新潟	本間 忠	ヤクルトスワローズ
485	佐賀	河野 昌人	ソフトバンクホークス
486	神奈川	小野 仁	近鉄バファローズ
487	東京	都築 克幸	中日ドラゴンズ
488	兵庫	小川 裕介	オリックス野球クラブ

## 9. 表彰関係

(1) 表彰委員会規程による表彰

24年度の功労者(15名)の皆様を本評議員会の席上にて表彰する。

申請	人員	受賞者名
北海道	1名	鯉谷 忠
東北	2	高橋 正則(宮城) ・ 山本 良二(秋田)
関東	2	渋谷 栄(群馬) ・ 松野 皎(神奈川)
北信越	1	馬野 昇(福井)
東海	1	愛知 喬(愛知)
近畿	2	北浦 健三(大阪) ・ 田原 昭男(兵庫)
中国	2	今岡 一郎(島根) ・ 佐藤 良雄(山口)
四国	2	井原 周二(愛媛) ・ 山内 正昭(高知)
九州	2	八江 利春(長崎) ・ 佐藤 昌平(大分)
計	15	

(2) 読売新聞社主催 平成24年度第62回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 …………… パナソニック鳥取野球部(鳥取県)

## 10. 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部の協力により集まった用具を主に JICA 国際協力機構「世界の笑顔のために」プロジェクトへ参加する形で、ボール、バット、グラブ、ミット、キャッチャー用具、ヘルメット、ユニフォーム、シューズ、ボールケース、移動ベース一式を寄贈した。寄贈国は、フィリピン、タンザニア、ウガンダ、ケニア、ジンバブエ、コロンビア、ニカラグア、コスタリカ、ペルーの 9 カ国とした。平成 24 年度は、軟式ボールの他、ユニフォーム、ヘルメットの需要が例年に比べ高かった。

用具送付に係る経費の問題を解決しない限り、大規模での送付は困難であるが、世界各国の需要はますます高まっているので、軟式野球の PR も含め、各国と情報交換を行い野球途上国へ引き続き用具支援していくこととする。